

スプラインインプラント・ ニュージェネレーションサミット

～患者中心のインプラント治療の到達点へ～

平成22年9月5日(日) AM9:00～PM4:30

千里ライフサイエンスセンター ライフホール 〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

■歯科医師/15,000円 コ・デンタルスタッフ/8,000円 (ともに消費税・昼食込み)

HAKUHO
HAKUHO CO., LTD.

プレゼンター

飯田 啓介
Keisuke Iida

徳山 性文
Seibun Tokuyama

中山 隆司
Takashi Nakayama

林 孝則
Takanori Hayashi

林 丈裕
Takehiro Hayashi

藤本 博
Hiroshi Fujimoto

コーディネーター

司会・進行/ 荒垣 一彦
Kazuhiko Aragaki

林 揚春
Yoshiharu Hayashi

森田 耕造
Kozo Morita

吉竹 弘行
Hiroyuki Yoshitake

桜井 保幸
Yasuyuki Sakurai

スプラインインプラント・ニュージェネレーションサミット ~患者中心のインプラント治療の到達点へ~

●演題1 Face-driven dentistryにおけるインプラントの役割

飯田 啓介 Keisuke Iida

愛知県名古屋開業
医療法人メルサ会
飯田歯科 理事長
AO 会員
日本顎咬合学会 認定医
日本臨床歯周病学会 会員

近年、歯科治療において機能的にも審美的にも良好な結果を得ることが求められている。機能的および審美的な問題がある場合、天然歯列においては矯正治療が必要となる。一方、欠損歯列や無歯顎の場合では、インプラントが重要な役割を果たすと考える。いずれの場合でも、良好な結果を得るためには、顔貌とくにプロファイルの分析、およびその改善が求められる。Face-driven dentistryにおいては、顔貌に対する上顎前歯の位置が重要となる。今回、プロファイルの改善におけるインプラントの役割について報告する。

●演題2 抜歯即時埋入とサイナスリフトへのCGFの活用

徳山 性文 Seibun Tokuyama

東京都武蔵野市
吉祥寺セントラルクリニック
大阪府大阪市
Briller Dental Clinic
(ブリエデンタルクリニック)
日本顎咬合学会認定医
GOIAJAPAPインプラント認定医
大阪SJCD所属・OJ所属

ここ最近、私の臨床の中で重宝しているのが、CGF (Concentrated Growth Factors)、ビエソサージュリー、IPI (Immediate Provisional Implant) である。今回、抜歯即時埋入とソケットリフトを用いた全顎ケースにおいて、早期の審美・咬合回復の目的にIPI・抜歯予定歯を利用した1ケースと、その中でソケットリフト法にCGFを利用した安全な術式。もう1ケースはCGFのみを用いたサイナスリフトの可能性をケースを追って話したい。

●演題3 インプラント補綴の治療計画 ~Healingを考慮して~

中山 隆司 Takashi Nakayama

大阪府大阪市開業
医療法人社団 恵期会
なかやま歯科 院長
日本顎咬合学会 理事

今回のテーマである治療計画は、治療全体と最終のゴールを決定づける最も重要な位置を占める。治療計画にあたり歯科医師はインプラント埋入の位置、角度、深度、本数の決定、上部構造の選択、治療期間中のレストレーションの与え方、グラフトの必要性など、多岐にわたる項目を慎重に検討しなければならない。また患者の希望、経済状況も考慮することになる。特に骨質、骨量ともに厳しい条件を有することの多い上顎多数歯欠損症例は術者にとって難易度が高く、患者にとっても負担が大きくなりがちである。一方、補綴法の選択基準とその適用、効果についても明確に整理されているとは未だ言い切れず、臨床家により様々であるのが現状ではないかと感じる。今回は、咬合支持数を著しく失ってしまった上顎歯牙崩壊症例を提示し、症例を通じてその診断、治療計画、及び補綴設計基準に焦点を絞り各ステップを報告、そして治療期間における患者のQOLを落とさせないインプラント治療戦略について報告する。

●演題4 やさしいインプラント治療を求めて

林 孝則 Takanori Hayashi

福岡県飯塚市開業
ほわいと歯科 院長
福岡SJCD 会員

5年前、私の人生初めてのインプラント埋入は抜歯即時埋入でした。それから半年もせずしてソケットリフトを伴った抜歯即時埋入、洞底まで1~2mmのソケットリフトも経験しました。当時インプラントの知識もなく特別な臨床技術もない私がいろんな症例にチャレンジできたのは、林先生、森田先生、荒垣先生と出会い、HAインプラントを使用したシンプルなインプラント治療を教えて頂いたおかげだと感謝しています。今回は、前歯と臼歯の即時埋入で注意しているポイントと、最後に1つの症例を通して、肩書きもない田舎の普通の歯科医が日々の臨床で行っている“患者にも術者にもやさしいインプラント治療”についてお話させて頂きたいと思っております。

●演題5 ~Challenges of the esthetic Zone~ 審美領域における抜歯後即時埋入インプラントの有用性について

林 丈裕 Takehiro Hayashi

東京都港区開業
吉樹デンタルクリニック 院長
東京SJCD 会員
ICOI fellow
OJ 正会員

上顎前歯部などの審美領域における理想的なインプラントを埋入するにあたっては、以下のことを考慮しなければならない。全体的な評価として、患者のスマイルを含む顔貌からはじめ、口唇の自然な位置を記録し、そこから、瞳孔線、正中の基準線を元に、切端の位置、切端ライン、切端の見え方、歯牙の形態、歯冠長幅径比、色調、歯列においての対称性(叢生など)、歯肉レベル、歯肉の見え方(ガミースマイル)などを精査し、歯肉のバイオタイプ、歯槽骨頂部の解剖学的形態、隣在歯の周囲組織の環境を含め、外科的、補綴的、矯正的に対応できるか治療計画を立案していくことが必要である。今回、私がインプラント修復治療において目標として掲げている、外科的侵襲の軽減、治療期間の短縮、早期の審美性の回復を行うにあたっての抜歯後即時埋入インプラントの有効性を述べさせていただき、上顎前歯部複数歯欠損に対して、包括的治療計画をもとに抜歯後即時埋入インプラントにて対応した症例について報告したい。

●演題6 インプラント治療における診断と治療計画 ~抜歯即時インプラントがもたらしたもの~

藤本 博 Hiroshi Fujimoto

熊本県荒尾市開業
ふじもと歯科医院 院長
日本顎咬合学会 認定医
日本口腔インプラント学会 会員
日本歯周病学会 会員

「インプラント治療のためという大義名分で安易に抜歯が行われるならば、大学教育にエンドもベリオも必要ない」と論じた大家がいたが、確かに優れた先人達は歯を保存するため、口腔機能を改善するためにさまざまな手技を用いて治療を行い成功も失敗も経験してきたに違いない。そういった経験から保存より抜歯の方が患者の利益になるという診断が可能になっているのであり、安易にインプラントに置換しているのではない。疾患を治し、口腔を健全な状態に戻すことが最善の選択枝であるが、術者の価値観を患者に押しつけて却って患者に苦痛を強いるようなことは避けたい。HAインプラントを用いた抜歯即時インプラント埋入の考え方によって治療計画はよりシンプルになり、患者負担は大きく減少するというメリットを得た。今回、全顎的な治療を必要とした症例を提示して、抜歯即時インプラントによって変化する診断と治療計画について考察する。

コーディネーター

司会・進行 / 荒垣 一彦
Kazuhiko Aragaki
兵庫県神戸市開業
荒垣歯科医院 院長

林 揚春
Yoshiharu Hayashi
東京都新宿区開業
医療法人 秀茂会
豊ビル歯科医院 院長

森田 耕造
Kozo Morita
大阪府大阪市開業
森田歯科医院 院長

吉竹 弘行
Hiroyuki Yoshitake
兵庫県尼崎市開業
吉竹歯科 院長

桜井 保幸
Yasuyuki Sakurai
大阪府東大阪市開業
有限会社 ファイン 代表取締役